

自主映画情報!



第4回 仙台ヴィジュアル・フェスタ ユースシネマフォーラム'99

スクリーンまでの映画の道程

映画の花道 — 入門編 —

○毎年、かゆいところに手の届く絶妙な作品選定で在仙の映画ファンをうならせた「ユースシネマフォーラム」!! 今年も充実のラインナップは、これまでの新聞や、配布中のパンフレットをご覧頂くと、今回はシブシブについてご紹介いたします。

映画制作には何が必要か? 映画監督の条件は何? コンペで勝ち抜くには? 映画のプロフェッサーの仕事って何? 制作費はどうやって決めるの? など、前手を狙う人も、楽しく映画を観たい人も、興味津々あれこれ見聞きの1日限定映画展。
— このパンフレットの説明だけでも材料ものですが、参加するのが、上映された映画の監督その人だけにリアルな質問も飛び交いそう。(もちろん、その質問をするのは、あなた! 来るしかないでしょ?)

映像の仕事しながら自分の作品を作り続け、映画に専念して初の作品「アベック・モン・マリ」が上映される大谷健太郎監督。詩人にして俳優、そして熱狂的な崇拜者を持つ映像作家、園子温監督。共にPFF入賞作家でもあり、様々な裏話が聞けそうですが、その2人に加えて、元PFFディレクターにして映像環境プロフェッサーの武藤起一氏も参加するとなればこの場がただで済むはずがない! 絶対おすすめ!

- ユースシネマフォーラム・開催日程
- 時 99年9/18(土)・19(日)
 - 会場 青年文化センターシアターホール
 - 料金 ・前売り/¥1000 (1日券)
・当日 /¥1200 (1日券)
・2日間フリーパス券/¥1800
 - 主催: 仙台市 (財) 仙台市市民文化事業団
 - 企画制作進行: 仙台ムービー・アクト・プロジェクト
 - 問い合わせ: 仙台市青年文化センター

仙台
フェスタ
ユース
シネマ
フォーラム
の
関係
企画
です!

- ユース・ヴィジュアル展 (ノンジャンル・アート展)
- 9月12日(日)~19日(日) 青年文化センター 2階交流ホール
10:30~20:30まで(19日のみ10:30~12:30) 入場無料
ユース・ヴィジュアル展実行委員会(一財)がポスター、チラシ制作、展示レイアウト、展示マニュアルなど企画・制作の全てを行い、出展も応募料0円として応募者が90を超えるなど、本年度最大イベントになっています。
- 「モノクロームの国」写真展 (フォト・ワークショップ受講生の写真展)
- 9月15日(水・祝)~19日(日) 青年文化センター 3階ギャラリー
10:00~21:00(19日のみ18:00) 入場無料
協力: 富士写真フイルム株式会社/中外写真興業株式会社
4月から開催している「フォト・ワークショップ」の卒業生が撮影したモノクロ写真展を一人一人がそれぞれの思いを込めて1枚の12x18cmにレイアウトしたものを展示します。



▲武藤起一氏

▲「風」/「桂子で待たせ」

▲「アベック・モン・マリ」大谷健太郎監督

おすすめ自主映画館 (今後の上映日)

- ・ 9月12日(日) 青年文化センターエッグホール
- ・ 11月 7日(日) 青年文化センターエッグホール
- ・ 1月23日(日) 青年文化センターエッグホール



「道端に咲く花が、その蜜を吸う蜂に恋をした。花は狂おしく恋し、その蜂を食べてしまった。そんな夢のような珠子と鏡子の恋物語。珠子の純愛。その心の鏡としての鏡子。やがて二人は、千年の狂都(=京都)のはらむ終末観の運で蘇る伝説の時を産みおとす。

監督は、京都70周年を暗躍してきた佐藤訪米。プロフェッサーには「道徳のざわめき」で海外デビューを日本に確立させた松井良彦に、「路上」の鶴田好史。音楽は不破大輔。

現代京都を生々しく写し取った「京極真珠」はここにスーパー・ミステリー伝説となった。(パンフレットより抜粋)

- 監督・脚本/佐藤訪米
- 出演/葉月 瑩・豊田奈千甫・他
- 併映/「路上」鶴田好史監督(昭和70年・42分)
- 時/9月1日(水)
- ・京極/①18:00~②20:00~
- ・路上/19:10~
- 所/IAK仙台駅前ビル(141EAGF)
- 料金・当日/¥1400均一(中高生・60歳以上¥1000)
- 問い合わせ: (タカハシ) (ヒラタ)

仙台シネアストからのおねがい!

ボランティア・スタッフ 熱烈募集中!!!!

○「イベント活動」的な楽しい集まりには、全く縁のない地道なことばかりやっています。こんなだからずっと続いているんじゃないか? という意見もありますが、まあ置いとしまして。

登録制 — というか、その日に空いていたらちょっと手伝ってくれるというんでも全然OK! (ただ、約束だけは守ってもらわないと困りますが...) 気軽にご連絡ください。

「自分で映画を撮ってみたい!」という方も大歓迎です。おつたいはできないかもしれませんが、ご相談からなら出来るかもしれません。 てなわけで、

さしなみ きよふみ まで

エンドマークへの道

○いつも忘れられがちなこのコーナーではありますが、「自分を映画に使ってほしい」とか、「これから映画を作りたいのですが、だれかに手伝ってほしい...」といった方のための伝言板です。

スタッフ大募集!

○劇団「水原CAPSULE」は、旗上げ公演で、映像を取り入れた舞台を計画しております。つきましては、映像技術者と役者を募集させていただきます。興味のある方はご連絡下さい。お待ちしております。

☆連絡先/ 浅見真依子

引き受けます!

○「造型工房 PLUS UP」では、映画制作に必要なコストの貸出・制作を安価でお引受けいたします! 警察や、軍隊(・っぼいもの)から、ヒーロー・怪獣・怪人(・っぼいもの)まで、予算と条件に応じて何とかします特殊な小道具等(願ミソとか...)も、何とかかなりそうできないものもいっぱいあるかもしれませんが、おそらく、いや、たぶん大丈夫でしょう。まずはご連絡を!!

☆連絡先/ 造型工房PLUS UP

— とりあえず一度ご連絡を!

基本的には19才以上の方で、住所氏名を紙面に掲載できる方が望ましいです。 これまでも色々な問い合わせがあり、「けっこうつかえる」コーナーになってます。興味のある方は、おくづけ住所までご応募ください!

☆「ワンピース映画」作品募集!

○「ワンピース映画」というのは、「秘密の花園」「裸足のピクニック」の監督・脚本家コンビの矢口史雄・鈴木卓爾コンビが編み出した「超低予算・超小規模映画制作技術」。カメラワークは一切なし、編集・アフレコもなし。置きっぱなしのカメラが捉えたひとかけら「ワンピース」の四角い世界を、ワンシーン・ワンカット・1話完結で描くのが約束となっています。...というのは、この新聞の読者の皆さんには、いまさら説明は不要なのかもしれません。

以前にも書きました通り、「おすすめ~」からはみ出した形で「ワンピース映画」の上映会を企画したいと思っておりますが、そこで、皆さんの作った「ワンピース映画」を上映させて頂けないかと思ったわけです。

いろんな所で、「ワンピース映画を作った人」情報が流れて、「ワンピースファン」も増えているらしいのに、ちっとも観ることができないのも残念な話です。 — というわけで、奮々近いうちに、「ワンピース上映会」を企画します! もしよろしければ、皆さんの作品を上映させて下さい!

■9月12日「おすすめ~」受付まで作品をお持ちください!
・急なお知らせで申し訳ありませんが、宜しくお願いします。

電撃通信

のんき亭上映会

のんき館 第229 回上映会

- ・「海軍兵学校物語 あゝ江田島」(59)
- 監督/村山三男 出演/本郷功次郎・他
- ・「喜劇・あゝ軍歌」(70)
- 監督/前田陽一 出演/77年 堺 幸治
- 時/8月29日(日)
- ①2:00/4:00 ②6:00/8:00
- 所/のんき亭(仙台駅前・谷風通り沿い)
- 料金/前売り¥1200 当日¥1500
- 問い合わせ/(午後5時~11時) (のんき亭)

仙台シネマ倶楽部

○1999年拡大例会○
(ヴェルナー・ヘルツォーク特集)



- ・「カスパー・ハウザーの謎」(74/西独/103分/1975年 カンヌ国際映画祭審査員特別賞)
- ・「シュトロツェクの不思議な旅」(77/西独/108分)
- 監督/ヴェルナー・ヘルツォーク
- 主演/ブルーノ・S
- 時/9月5日(日)
- カサ/11:00/16:00
- シュ/13:30/18:30
- 所/IAK仙台駅前ビル(141EAGF)
- 料金・当日券 500円(入替制)
(当日仙台シネマ倶楽部会員:無料)
- 問い合わせ/ (高塚)

おすすめ自主映画館
の上映システム

仙台シネアストでは、インディペンデント映画をより多くのおみなさんに観賞していただくため、一日に複数回上映する方式をとっております。また、日程の都合がつかずご来場いただかなかった方のために、作品群を翌々月も上映いたしておりますのでお気軽にご来場ください。ただし「月間特集」のみはその月だけの上映となっておりますので裏面の作品解説を御覧のうえ、ご観賞下さい。



A: 5月上映会 B: 7月上映会

※「おすすめ~」会場のロビーでは、製作に関する情報を求めている方への掲示板「ENDマークへの道」を行っております。スタッフやエキストラ募集など、協力を求める方は必ずこの掲示板までご連絡ください。